

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000261	資料収集整理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	図書館			
基本方針	02	図書館活動を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	図書館法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630301	資料収集整理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 ( 委託先又は指定管理者: )							
実施方法		補助金 ( 補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市民生活向上のため、様々な市民要求に対応できる図書館を目指し、あらゆる分野の多様な資料を収集(購入等)し、生涯学習拠点施設としての役割を果たすことで、市民の学習や文化活動を支援する。 また、人、情報が出会い、交流する「まちと人・人と人をつなぐ」交流空間を創造し、まちに活気と賑わいをもたらす市民交流プラザの目的達成のため、近隣市町(三丹)在住の方にも資料の貸し出しを行うなど、図書館利用に係る集客を促進する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、市内通勤通学者、近隣市町(三丹)在住の方、福知山駅利用者や旅行者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>新図書館中央館の蔵書可能数30万冊に向けて計画的に蔵書数を増やすとともに、寄付金の目的に沿って児童書・絵本の所蔵充実を図る。</p> <p>一般図書や児童書、新聞や雑誌など「資料収集方針」に基づき、選書、発注を行い、納品後は当館の資料として登録作業を実施し利用者への提供を行う。また、「資料廃棄取扱要領」に基づき不要資料を定め、公共施設や市民への提供を実施し有効活用を図るとともに廃棄することで、図書館資料の適正な管理を行う。</p> <p>事業費内容  <b>【備品購入費】</b> 図書資料購入費 14,112冊(23,817千円)  <b>【委託料】</b> 書誌データ及びICタグ作成委託(2,497千円)  <b>【需用費】</b> 雑誌、新聞費等(3,290千円)</p>							
関連事業 (同一目的事業等)		佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金繰入金							

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		備品購入費	千円	20,403	23,817	23,506	6,199
		需用費	千円	3,434	3,291	3,172	1,563
		委託料	千円	2,178	2,497	2,429	764
		役務費	千円	0	1,217	954	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	1,246	0	0	0
小計	千円	27,261	30,822	30,061	8,526		
B	人件費	千円	13,080	13,080	12,642	6,703	
総事業費(A+B)		千円	40,341	43,902	42,703	15,229	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	9,945	10,421	10,077	0	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源	千円	30,396	33,481	32,626	15,229		

# 計画事業評価表

計画事業		資料収集整理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	購入冊数	目標	11700	13,670	13,720	4,200
		実績		14435	14,112	4,298
		単位コスト		2.135		
	除籍冊数	目標				
		実績		1107	3550	23,931
		単位コスト		27.843	8.468	
成果実績	蔵書稼働率(貸出冊数/蔵書冊数)	目標	2.1	2.0	1.9	1.8
		実績		2.3	2.0	1.4
		単位コスト				
	市民一人当たりの蔵書冊数	目標	3.3	3.2	3.1	3.0
		実績		3.3	3.1	3.0
		単位コスト				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	より魅力的な図書館を目指すためには、新鮮で豊富な資料が必要であり、充実した資料の確保を行うことで、多くの市民の方に利用いただけるものとする。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	より多くの市民の方に図書館の資料を活用していただくことが、人材の育成や次世代への投資となり、地域文化の向上を図ることができる。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	限られた予算のなかで、利用者の満足度を保てるように、利用傾向分析を行ったうえ、中央館、分館との連携のもとで有効な選書を行う必要がある。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 資料の整備は図書館の根幹であり、基金を活かしながら現状維持する必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000262	中央館運営事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会						
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	図書館					
基本方針	02	図書館活動を充実する			新規継続区分	新規事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	図書館法										
構成予算事業			会計		款		項		目		
630302	中央館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費	
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業						
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: シルバー人材センター他)										
	補助金 (補助先: )										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) ・資料の貸出、返却業務、レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)、予約対応など図書館利用者の求めに応じて対応できる安定した図書館サービスの提供を図る。また、市民だけでなく、市外の方(三丹地域)にも資料の貸し出しを行い、人、情報が出会い、交流する「まちと人・人と人をつなぐ交流空間」を創造し、まちに活気と賑わいをもたらし、地域の活性化を図れる施設とする。										
対象	市民、市内通勤通学者、及び近隣市町在住の方 (誰・何を対象に)										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 開館日数 304日 貸出冊数 546,784冊(移動図書館含む) 事業費内容 【賃金】臨時職員経費(13名 20,587千円) 【委託料】移動図書館運転業務(2,027千円)、館内整理業務(3,464千円)、 図書館情報システム保守(2,004千円)、自動化書庫保守(1,296千円) 【需用費】消耗品費(用紙、修本用品、トナー代等)、公用車燃料費 【役務費】電話料等 【使用料及び賃借料】図書館システム(3,395千円)、コピー機使用料(449千円)										
関連事業	(同一目的事業等)										
コスト	A	賃金	千円	平成28年度	21,860	平成27年度	20,587	平成26年度	17,878	平成25年度	6,972
		委託料	千円	平成28年度	9,222	平成27年度	8,791	平成26年度	4,659	平成25年度	2,792
		使用料及び賃借料	千円	平成28年度	3,940	平成27年度	3,844	平成26年度	3,663	平成25年度	2,065
		需用費	千円	平成28年度	2,414	平成27年度	2,584	平成26年度	4,133	平成25年度	1,529
		役務費	千円	平成28年度	784	平成27年度	561	平成26年度	931	平成25年度	565
		旅費	千円	平成28年度	186	平成27年度	186	平成26年度	207	平成25年度	0
		報酬	千円	平成28年度	288	平成27年度	184	平成26年度	176	平成25年度	0
		負担金補助及び交付金	千円	平成28年度	33	平成27年度	33	平成26年度	33	平成25年度	0
		公課費	千円	平成28年度	58	平成27年度	33	平成26年度	57	平成25年度	0
		その他	千円	平成28年度	110	平成27年度	0	平成26年度	92	平成25年度	789
小計	千円	平成28年度	38,945	平成27年度	36,816	平成26年度	31,895	平成25年度	14,712		
B	人件費	千円	平成28年度	38,202	平成27年度	38,202	平成26年度	45,450	平成25年度	42,923	
総事業費(A+B)	千円	平成28年度	77,147	平成27年度	75,018	平成26年度	77,345	平成25年度	57,635		
財源内訳	国支出金	千円	平成28年度	0	平成27年度	0	平成26年度	0	平成25年度	0	
	府支出金	千円	平成28年度	0	平成27年度	0	平成26年度	0	平成25年度	0	
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	平成28年度	0	平成27年度	0	平成26年度	0	平成25年度	0	
	その他特財	千円	平成28年度	124	平成27年度	0	平成26年度	142	平成25年度	0	
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	平成28年度	77,023	平成27年度	75,018	平成26年度	77,203	平成25年度	57,635		

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000262 中央館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	来館者数	目標	人	306,000	300,000	200,000	
		実績			258,315	209,097	95,926
		単位コスト		円		142.5	152.5
	年間貸出冊数	目標	冊	600,000	500,000	480,000	320,000
		実績			583,754	423,203	281,566
		単位コスト		円		63.1	75.4
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
利用券年間登録者数	目標	人	2,600	2,500	2,400	1,700	
	実績			2,583	3,420	1,198	
市民一人当り貸出冊数(冊数/人口)分館含む	目標	冊	8.5	7.0	6.7	4.6	
	実績			8.1	6.2	4.3	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		平成26年6月21日の新中央館オープン以来、市民が快適で安全な読書環境を提供することができた。今後においても市民の身近な生涯学習の中核施設として、より一層のサービス機能充実を図っていくことが不可欠である。				
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		新たな機能の充実により利用者の拡大を目指し、市民の知識と文化を育む拠点として整備することにより、多くの利用者に活用していただくことが人材の育成、次世代への投資につながると考える。				
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		図書館の管理コストを考慮しつつ、利用者の利便性の向上を目指して図書館運営を検討していく必要がある。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)				
成果の方向性	拡充	x				新中央館開館後に寄せられた利用者の要望の中には、開館時間の拡大要望がある。そのためには職員の増員が不可欠となるため、管理コストを考慮しつつ、利用者の利便性の向上を目指した図書館運営を検討していく必要がある。安全で快適な利用環境を整え、利用者の利便性の向上や読書や調査・研究等へのニーズへのさらなる対応を図り、「まちとひと・人と人をつなぐ交流空間の創造」を目指す。
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
		皆減	縮小	維持	拡充	
コスト投入の方向性						

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000263	三和分館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	図書館			
基本方針	02	図書館活動を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	図書館法									
構成予算事業			会計		款		項		目	
630303	三和分館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			・資料の貸出、返却業務、レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)、予約対応など図書館利用者の求めに応じて対応できる安定した図書館サービスの提供を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民、市内通勤通学者、及び近隣市町在住の方							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の貸出、返却業務</li> <li>・レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)</li> <li>・予約、リクエスト業務</li> <li>・図書展示、図書館だより等啓発</li> <li>・図書館システムの管理業務</li> </ul> 開館日数 295日 貸出冊数 14,016冊 【賃金】臨時職員経費 (2名 1,691千円) 【需用費】消耗品費 42千円 【役務費】電話料等 121千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	1,784	1,691	1,686	1,690
		役務費	千円	143	121	122	118
		使用料及び賃借料	千円	96	88	79	0
		需用費	千円	39	42	71	63
		旅費	千円	20	11	2	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	90
	小計	千円	2,082	1,953	1,960	1,961	
	B	人件費	千円	2,373	2,373	2,373	2,560
	総事業費(A+B)	千円	4,455	4,326	4,333	4,521	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	4,455	4,326	4,333	4,521	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000263 三和分館運営事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		来館者数	人	5,500	5,800	6,000	5,800		
				5,278	5,648	5,992			
	円		370.0	347.0	327.3				
活動実績	目標								
	実績								
	単位コスト								
成果指標名	目標								
	実績								
	単位コスト								
年間貸出冊数	冊	14,500	16,500	17,000	15,000				
			14,016	16,232	16,898				
目標									
目標									

事項		担当課評価	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		地域の身近な生涯学習の拠点として分館は必要。	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		図書館の利用を推進することは地域住民の生涯学習を推進するために有効である。	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		図書館の管理コストを考慮しつつ、利用者の利便性の向上を目指して図書館運営を検討していく必要がある。	
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 地域の身近な図書館として、安全で快適な利用環境を整備し、読書や調査・研究等のニーズへの対応を図るとともに、中央館との連携を強化し、サービスの充実を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。	
成果の方向性	拡充	×	
	維持	×	×
成果の方向性	縮小	×	×
	休廃止		×
皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性			

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000264	夜久野分館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	図書館				
基本方針	02	図書館活動を充実する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	図書館法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630304	夜久野分館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )							
実施方法			補助金 (補助先: )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			・資料の貸出、返却業務、レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)、予約対応など図書館利用者の求めに応じて対応できる安定した図書館サービスの提供を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民、市内通勤通学者、及び近隣市町在住の方							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の貸出、返却業務</li> <li>レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)</li> <li>予約、リクエスト業務</li> <li>図書展示、図書館だより等啓発</li> <li>図書館システムの管理業務</li> </ul> 開館日数 295日 貸出冊数 24,887冊 【賃金】臨時職員経費 (2名 3,448千円) 【需用費】消耗品費 105千円 【役務費】電話料等 83千円 【委託料】コピー機保守 84千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	3,644	3,448	3,419	3,425
		需用費	千円	83	105	159	54
		委託料	千円	84	84	79	80
		役務費	千円	96	83	82	83
		旅費	千円	25	23	2	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	16
	小計	千円	3,932	3,743	3,741	3,658	
	B	人件費	千円	2,373	2,373	2,373	2,560
	総事業費(A+B)	千円	6,305	6,116	6,114	6,218	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	6,305	6,116	6,114	6,218	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000264 夜久野分館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	来館者数	目標	人	14,500	16,300	15,500	17,800
		実績			14,217	16,179	15,255
		単位コスト		円		263.3	231.2
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	年間貸出冊数	目標	冊	25,000	35,500	38,000	35,000
実績				24,887	35,155	37,525	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		地域の身近な生涯学習の拠点として分館は必要。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		図書館の利用を推進することは地域住民の生涯学習を推進するために有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		図書館の管理コストを考慮しつつ、利用者の利便性の向上を目指して図書館運営を検討していく必要がある。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 地域の身近な図書館として、安全で快適な利用環境を整備し、読書や調査・研究等のニーズへの対応を図るとともに、中央館との連携を強化し、サービスの充実を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
成果の方向性	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			



## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業	000265	大江分館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	図書館			
基本方針	02	図書館活動を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	図書館法									
構成予算事業			会計		款		項		目	
630305	大江分館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			( 委託先又は指定管理者 : )							
補助金			( 補助先 : )							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			・資料の貸出、返却業務、レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)、予約対応など図書館利用者の求めに応じて対応できる安定した図書館サービスの提供を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民、市内通勤通学者、及び近隣市町在住の方							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の貸出、返却業務</li> <li>・レファレンス業務(利用者からの質問に対し、図書館で得られる情報を基に答えるサービス)</li> <li>・予約、リクエスト業務</li> <li>・図書展示、図書館だより等啓発</li> <li>・図書館システムの管理業務</li> </ul> 開館日数 295日 貸出冊数 18,488冊 【賃金】臨時職員経費 (2名 1,777千円) 【需用費】消耗品費 35千円 【役務費】電話料等 92千円 【委託料】コピー機保守 84千円							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	1,784	1,777	1,928	1,802
		役務費	千円	119	92	89	77
		使用料及び賃借料	千円	96	84	80	0
		需用費	千円	39	35	5	38
		旅費	千円	26	18	14	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	107
	小計	千円	2,064	2,006	2,116	2,024	
	B	人件費	千円	2,467	2,467	2,373	2,060
	総事業費(A+B)	千円	4,531	4,473	4,489	4,084	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	4,531	4,473	4,489	4,084	

# 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000265 大江分館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	来館者数	目標	人	7,700	7,700	7,000	7,000
		実績			7,414	7,485	4,260
		単位コスト	円		270.6	282.7	475.1
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	冊	19,000	15,000	13,100	13,100
		実績			18,488	19,939	8,783
		年間貸出冊数	目標				
	成果実績	実績					
		目標					
実績							

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		地域の身近な生涯学習の拠点として分館は必要。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		図書館の利用を推進することは地域住民の生涯学習を推進するために有効である。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		図書館の管理コストを考慮しつつ、利用者の利便性の向上を目指して図書館運営を検討していく必要がある。			
<b>コストと成果の方向性</b>		<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>			
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b>		<b>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</b> 地域の身近な図書館として、安全で快適な利用環境を整備し、読書や調査・研究等のニーズへの対応を図るとともに、中央館との連携を強化し、サービスの充実を図る。また、地域に関連した資料収集を行うなど特徴を生かした分館独自のサービスを展開する。また過去に水害に遭遇し、復旧に長期間を要したことから、大雨が予想される度に職員が資料を上階へ移動させる等の事前対応及び移動させた資料を階下へ戻す等の事後対応を行っている。今後、災害に強く利用者が安心して利用できる施設への移行を検討しなければならない。			
成果の方向性	拡充 ×    ○    × 維持 ×    ○    × 縮小 ×    ×    × 休廃止    ×    ×    ×				
	皆減 縮小 <b>維持</b> 拡大 コスト投入の方向性				

## 計画事業評価表

( 1 / 2 )

計画事業		000266	読書活動支援事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進		担当課	図書館					
基本方針	02	図書館活動を充実する		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	H28棚卸し(非公開)					
根拠法令	図書館法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630308	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: )									
	補助金 (補助先: )									
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) すべての市民の方に読書の楽しみを届けるための活動に寄与することを目的とする。活動は大きく分けて2つあり、1つ目は、講演会やワークショップを開催することにより、あらゆる世代の方に学習の機会を提供し、読書活動の普及・図書館の利用促進を図る。2つ目は、読書ボランティア養成講座や対面読書ボランティア研修会などの講座や研修会を開催することにより、新たなボランティアを育成し、市民と協働して、すべての市民に読書の楽しみを届けることを目指す。									
対象	市民 (誰・何を対象に)									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 講演会、各種講座の企画運営 【報償費】講演会・講座講師謝礼(428千円) 各種おはなし会の実施 ブックスタート事業(支援)									
関連事業	(同一目的事業等)									
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度				
		報償費	千円	569	428	147	0			
		積立金	千円	860	265	0	0			
		需用費	千円	110	186	121	0			
		役務費	千円	14	20	0	0			
		報酬	千円	0	0	0	52			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	40	0	63	5			
		小計	千円	1,593	899	331	57			
	B	人件費	千円	5,672	5,672	5,390	2,653			
総事業費(A+B)	千円	7,265	6,571	5,721	2,710					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	1,575	861	754	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	5,690	5,710	4,967	2,710					

## 計画事業評価表

( 2 / 2 )

計画事業		000266 読書活動支援事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	おはなし会等事業実施回数	目標	180	180	180	74
		実績		117	124	82
		単位コスト	円	7,684	2,669	695
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	児童書貸出冊数	目標	300000	300,000	300,000	213,100
		実績		346,888	276,309	192,773
	図書館ボランティアの活動人数	目標	150	150	150	
		実績		0	0	
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	本に親しんでいただくきっかけづくりとして、ブックスタート事業への協力やおはなし会・講演会を実施し、子どもの読書活動の推進を図る必要がある。																																	
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	図書館ボランティアの育成や子育て支援としての事業の展開により、子どもの読書活動の推進につながる。																																	
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	図書館ボランティアと協働で、今後も各種講座、おはなし会を充実させていく必要がある。																																	
<b>コストと成果の方向性</b>	<b>事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)</b>																																	
<b>事務事業の方向性の組み合わせ</b> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×		○		維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						<b>B 改善(事業の進め方等に改善が必要)</b> 平成28年2月に策定した「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の一層の推進を図る。 「としょかん読みきかせボランティア養成講座」を開講して新たなボランティアの人材発掘に努め、図書館や地域での読書活動の推進につなげる。 これまで連携できていなかった関係機関と、「子どもの読書活動推進連絡会」を設置することにより、情報の共有と事業の連携を進め、効率的な読書活動の推進を図っていく。
成果の方向性		拡充	×		○																													
		維持	×			×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

# 計画事業評価表

( 1 / 2 )

<b>計画事業</b>	001008	子どもの読書活動推進計画策定事業								
<b>評価基準年度</b>	平成27年度	<b>事業開始年度</b>	平成27年度			<b>担当部名</b>	教育委員会			
<b>基本理念</b>	73	生涯学習の推進				<b>担当課</b>	図書館			
<b>基本方針</b>	02	図書館活動を充実する				<b>新規継続区分</b>	新規事業			
<b>施策の大綱</b>						<b>実施計画区分</b>	実施計画事業			
<b>施策</b>						<b>自由区分3</b>	H28棚卸し（非公開）			
<b>根拠法令</b>	図書館法									
<b>構成予算事業</b>			<b>会計</b>		<b>款</b>		<b>項</b>		<b>目</b>	
630307	子どもの読書活動推進計画策定事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	03	図書館費
<b>実施方法</b>			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
<b>実施方法</b>			直接実施							
<b>実施方法</b>			業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）							
<b>実施方法</b>			補助金（補助先：）							
<b>事務事業の意図</b> (どのような状態にしたいか)	平成20年3月に策定した「福知山市子どもの読書活動推進計画」を見直し、新中央館の効果的な活用を含めながら新たな推進計画を策定し、子どもの読書活動の推進を図る。									
<b>対象</b> (誰・何を対象に)	市民（特に、子どもと子どもを取り巻く関係機関）									
<b>事業内容</b> (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	有識者等による「福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会」及び庁内関係課の職員による「庁内委員会」を設置するとともに、関係機関へのアンケート調査を実施して、その結果をふまえて検討・策定する。									
<b>関連事業</b> (同一目的事業等)										

<b>コスト</b>	<b>報償費</b>	千円	平成28年度	0	平成27年度	80	平成26年度	0	平成25年度	0
	<b>需用費</b>	千円	0	58	0	0				
	<b>旅費</b>	千円	0	34	0	0				
	<b>報酬</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>給料</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>職員手当等</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>共済費</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>災害補償費</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>恩給及び退職年金</b>	千円	0	0	0	0				
	<b>その他</b>	千円	0	0	0	0				
<b>小計</b>	千円	0	172	0	0					
<b>B 人件費</b>	千円	0	6,533	0	0					
<b>総事業費(A+B)</b>	千円	0	6,705	0	0					
<b>国支出金</b>	千円	0	171	0	0					
<b>府支出金</b>	千円	0	0	0	0					
<b>国・府支出金コメント</b>										
<b>地方債</b>	千円	0	0	0	0					
<b>その他特財</b>	千円	0	0	0	0					
<b>地方債・その他特財コメント</b>										
<b>一般財源</b>	千円	0	6,534	0	0					

事業計画額

財源内訳

# 計画事業評価表

計画事業		001008 子どもの読書活動推進計画策定事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		子どもの読書活動推進計画策定委員会開催	目標	回		4		
			実績			4		
			単位コスト	円		43.000		
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	成果実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
単位コスト								
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度			
目標								
実績								
目標								
実績								
目標								
実績								

事項		担当課評価			
<b>事業の妥当性・必要性</b> <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		子どもと子どもを取り巻く関係機関(学校、保育園・幼稚園、児童館、保健センター、放課後児童クラブ、図書館、ボランティア、保護者等)が読書の大切さを共通認識とし、子どもの読書環境が豊かなものとなるよう互いに連携することで、読書活動の推進を図る。			
<b>事業の有効性</b> <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市の子どもたちが読書を楽しみ、読書をとおして「生きる力」を培い成長する機会を整え、福知山市の教育目標である『自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成』を目指す。			
<b>事業の効率性</b> <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		庁内に「子どもの読書活動推進連絡会」を設置し、情報を共有し連携を深めることで、効果的な読書活動推進を図る。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充	x	○		
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減	○	維持	拡大	
コスト投入の方向性		これまでは関係機関と連携がとれていなかったが、新たに「子どもの読書活動推進連絡会」を設置することにより、情報の共有や協力体制を確立して効率的な読書活動の推進を図ることを目指す。また、図書館や地域で読み聞かせ等をするボランティアがまだ不足しているため、「としょかん読みかせボランティア養成講座」を開講して新たなボランティアを育成し、市民と協働で事業を推進していく。			